



Cisco NX-OS FabricPath コマンド

この章では、Cisco Nexus 7000 シリーズ デバイスの Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

authentication-check (fabricpath)

受信プロトコル データ ユニット (PDU) の認証チェックをイネーブルにするには、**authentication-check** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

authentication-check

no authentication-check

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

イネーブル

コマンド モード

Fabricpath IS-IS モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、受信 PDU の認証チェックをイネーブルにする例を示します。

```
switch# config t  
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
switch(config)# fabricpath domain default  
switch(config-fabricpath-isis)# authentication-check  
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

■ authentication-check (fabricpath)

authentication key-chain (fabricpath)

FabricPath デバイス間の認証キーチェーンを設定するには、**authentication key-chain** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

authentication key-chain *auth-key-chain-name*

no authentication key-chain *auth-key-chain-name*

構文の説明

keychain-name 認証キーチェーン。最長で英数字 63 文字です。

デフォルト

なし

コマンドモード

Fabricpath IS-IS モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

hello プロトコル データ ユニットの認証にパスワードを割り当てるには、**authentication key-chain** コマンドを使用します。一度に IS-IS インターフェイスに適用される認証キーチェーンは 1 つだけです。別の **authentication** コマンドを設定すると、1 番目のコマンドは上書きされます。**authentication** コマンドを使用して、インターフェイス レベルではなく、IS-IS のインスタンス全体に認証を設定できます。

キーチェーンの詳細については、『*Security Configuration Guide, Cisco DCNM for LAN, Release 5.x*』を参照してください。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、エッジデバイス認証のための認証キーチェーン スtring を設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# authentication key-chain fabrickeys
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

authentication-type (fabricpath)

認証タイプを設定するには、**authentication-type** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

authentication-type {cleartext | md5}

no authentication-type {cleartext | md5}

構文の説明

cleartext	クリアテキストの認証方式を指定します。
md5	Message Digest (MD; メッセージダイジェスト) 5 認証を指定します。

デフォルト

イネーブル

コマンドモード

Fabricpath IS-IS モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

インターフェイスの hello Protocol Data Unit (PDU; プロトコル データ ユニット) の認証タイプを設定するには、**authentication-type** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、クリアテキストの認証を指定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# authentication-type cleartext
switch(config-fabricpath-isis)#
```

次に、Message Digest (MD; メッセージダイジェスト) 5 認証を指定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# authentication-type md5
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show fabricpath isis</code>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

clear fabricpath isis adjacency

FabricPath Layer 2 Intermediate-System to Intermediate-System (IS-IS) 隣接状態をクリアするには、**clear fabricpath isis adjacency** コマンドを使用します。

```
clear fabricpath isis adjacency [ * | ethernet | port-channel | system-id {ethernet
slot/chassis number | port-channel port-channel number | system-id sid}]
```

構文の説明

*	(任意) すべてのインターフェイスの IS-IS 隣接を指定します。
ethernet	(任意) イーサネット インターフェイスを指定します。
port-channel	(任意) ポートチャネル インターフェイスを指定します。
system-id	(任意) システム ID を指定します。
<i>slot/chassis number</i>	(任意) スロットまたはシャーシ番号を指定します。有効範囲は 1 ~ 253 です。
port-channel	(任意) ポートチャネル インターフェイスを指定します。
<i>port-channel number</i>	(任意) ポートチャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。
system-id	(任意) システム ID を指定します。
<i>sid</i>	(任意) XXXX.XXXX.XXXX の形式のシステム ID。

デフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注)

* 変数を入力してこのコマンドを入力すると、転送に影響を与え、トラフィックが中断することもあります。このコマンドはすべての隣接を破損してしまうからです。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、Fabricpath Layer 2 隣接状態をクリアする例を示します。

```
switch# clear fabricpath isis adjacency *
switch#
```


関連コマンド

コマンド	説明
<code>fabricpath domain default</code>	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

clear fabricpath isis statistics

すべての FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) プロトコル統計情報をクリアするには、**clear fabricpath isis statistics** コマンドを使用します。

clear fabricpath isis statistics *

構文の説明

* すべてのインターフェイスの IS-IS 隣接を指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS プロトコル統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear fabricpath isis statistics *
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

clear fabricpath isis traffic

Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トラフィック情報をクリアするには、**clear fabricpath isis traffic** コマンドを使用します。

```
clear fabricpath isis traffic [* | ethernet | port-channel {ethernet slot/chassis number |
port-channel port-channel number}]
```

構文の説明

*	(任意) すべてのインターフェイスの IS-IS 隣接を指定します。
ethernet	(任意) イーサネット インターフェイスを指定します。
port-channel	(任意) ポートチャンネル インターフェイスを指定します。
<i>slot/chassis number</i>	スロットまたはシャーシ番号。
<i>port-channel number</i>	ポート チャンネル番号。有効な範囲は 1 ~ 256 です。

デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS トラフィック情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear fabricpath isis traffic *
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
default	

description

トポロジの説明を設定するには、**description** コマンドを使用します。

description *desc*

no description *desc*

構文の説明

desc ラインの説明。最大サイズは 80 バイトです。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、トポロジの説明を設定する例を示します。

```
switch# config t
switch#(config)# description 50
switch#(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
default	

fabricpath domain default

グローバル FabricPath Layer 2 Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) コンフィギュレーション モードを開始するには、**fabricpath-domain default** コマンドを使用します。

fabricpath-domain default

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、グローバル FabricPath Layer 2 IS-IS コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。

```
switch# config t  
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
switch(config)# fabricpath domain default  
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

fabricpath isis authentication-check

インターフェイスごとに認証リンクステート パケット (LSP) プロトコル データ ユニット (PDU) をチェックするためにパスワードを割り当てるには、**fabricpath isis authentication-check** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fabricpath isis authentication-check

no fabricpath isis authentication-check

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

オン

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。



(注)

レベルの指定は不要です。

例

次に、受信 LSP PDU の認証をチェックする例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis authentication-check
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

fabricpath isis authentication key-chain

インターフェイスごとにパスワードを認証 hello Protocol Data Unit (PDU; プロトコル データ ユニット) に割り当てるには、**fabricpath isis authentication key-chain** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fabricpath isis authentication key-chain *auth-key-chain-name*

no authentication key-chain *auth-key-chain-name*

構文の説明

auth-key-chain-name 認証キーチェーン。最長で英数字 63 文字です。

デフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

hello プロトコル データ ユニットの認証にパスワードを割り当てるには、**authentication** コマンドを使用します。一度に IS-IS インターフェイスに適用される認証キーチェーンは 1 つだけです。別の **authentication** コマンドを設定すると、1 番目のコマンドは上書きされます。**authentication** コマンドを使用して、インターフェイス レベルではなく、IS-IS のインスタンス全体に認証を設定できます。

キーチェーンの詳細については、『*Security Configuration Guide, Cisco DCNM for LAN, Release 5.x*』を参照してください。



(注)

レベル指定は必要ありません。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、エッジデバイス認証のための認証キーチェーン スtring を設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/5
switch(config-if)# fabricpath isis authentication key-chain trees
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show fabricpath isis</code>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

fabricpath isis authentication-type

インターフェイスごとにパスワードを Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) 認証 hello Protocol Data Unit (PDU; プロトコル データ ユニット) に割り当てるには、**fabricpath isis authentication-type** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fabricpath isis authentication-type {cleartext | md5}

no fabricpath isis authentication-type {cleartext | md5}

構文の説明

cleartext	クリアテキストの認証方式を指定します。
md5	Message Digest (MD; メッセージ ダイジェスト) 5 認証を指定します。

デフォルト

イネーブル

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

インターフェイスの hello PDU の認証タイプを設定するには、**fabricpath isis authentication-type** コマンドを使用します。



(注)

レベル指定は必要ありません。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、パスワードを割り当てるときにクリアテキスト認証を指定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis authentication-type cleartext
switch(config-if)#
```

次に、パスワードを割り当てるときに Message Digest (MD; メッセージ ダイジェスト) 5 認証を指定する例を示します。

■ fabricpath isis authentication-type

```
switch# config t  
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
switch(config)# interface ethernet 5/2  
switch(config-if)# fabricpath isis authentication-type md5  
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

fabricpath isis csnp-interval

インターフェイスごとに Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Complete Sequence Number PDU (CSNP) 間隔を秒単位で設定するには、**fabricpath isis csnp-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fabricpath isis csnp-interval *seconds*

no fabricpath isis csnp-interval *seconds*

構文の説明

seconds CSNP 間隔の値。有効な範囲は 1 ～ 65535 です。

デフォルト

10 秒

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、CSNP 間隔値を設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis csnp-interval 60
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

fabricpath isis hello-interval

インターフェイスごとに hello 間隔 Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) を秒単位で設定するには、**fabricpath isis hello-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fabricpath isis hello-interval *seconds*

no fabricpath isis hello-interval *seconds*

構文の説明

seconds hello 間隔の値です。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

デフォルト

10 秒

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、hello 間隔を秒単位で設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/5
switch(config-if)# fabricpath isis hello-interval 20
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

fabricpath isis hello-multiplier

インターフェイスごとに hello ホールディング タイムの Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) 乗数を設定するには、**fabricpath isis hello-multiplier** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fabricpath isis hello-multiplier *multiplier*

no fabricpath isis hello-multiplier *multiplier*

構文の説明

multiplier hello 間隔の値です。指定できる範囲は 3 ~ 1000 です。

デフォルト

デフォルト値は 3 です。

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注)

レベル指定は必要ありません。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、hello 間隔を秒単位で設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/5
switch(config-if)# fabricpath isis hello-multiplier 20
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

fabricpath isis hello-padding

インターフェイスごとに FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) hello Protocol Data Unit (PDU; プロトコル データ ユニット) パディングを設定するには、**fabricpath isis hello-padding** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fabricpath isis hello-padding

no fabricpath isis hello-padding [always]

構文の説明

always (任意) hello PDU のパディングは常にオンになります。

デフォルト

オン

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注) このコマンドの **no** 形式に **always** を入力すると、パディングは常にオンになります。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS hello PDU パディングを設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis hello-padding
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

■ fabricpath isis hello-padding

fabricpath isis lsp-interval

各インターフェイスの Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) リンクステート パケット (LSP) プロトコル データ ユニット (PDU) 間の送信間隔を設定するには、**fabricpath isis lsp-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fabricpath isis lsp-interval msec

no fabricpath isis lsp-interval msec

構文の説明	<i>msec</i>	LSP 送信間隔、ミリ秒単位。指定できる範囲は 10 ~ 65535 です。
デフォルト	33	ミリ秒
コマンド モード	インターフェイス コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザ ロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.1(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。	
例	次に、LSP 送信間隔を設定する例を示します。 <pre>switch# config t Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z. switch(config)# interface ethernet 5/2 switch(config-if)# fabricpath isis lsp-interval 100 switch(config-if)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

fabricpath isis metric

各インターフェイスの Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) メトリックを設定するには、**fabricpath isis metric** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fabricpath isis metric *metric*

no fabricpath isis metric *metric*

構文の説明

metric デフォルトメトリック。指定できる範囲は 0 ~ 16777215 です。

デフォルト

デフォルトは次のとおりです (F シリーズ モジュールのデフォルト インターフェイスは 10 GB です)。

- 1 GB : 400
- 10 GB : 40

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、各インターフェイスにメトリックを設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis metric 100
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

fabricpath isis retransmit-interval

ピアツーピア (P2P) インターフェイスの最初の Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) リンクステート パケット (LSP) 再送信の間隔を設定するには、**fabricpath isis retransmit-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fabricpath isis retransmit-interval *seconds*

no fabricpath isis retransmit-interval *seconds*

構文の説明

seconds 同一 LSP の再送信の間隔、秒単位。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

デフォルト

5 秒

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、P2P インターフェイスの最初の LSP 再送信の間隔を設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface ethernet 5/2
switch(config-if)# fabricpath isis retransmit-interval 65532
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

fabricpath load-balance

ユニキャストトラフィックとマルチキャストトラフィックに共通の、ロードバランシングの送信元と宛先を選択するハッシュパラメータを設定するには、**fabricpath load-balance** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fabricpath load-balance control

no fabricpath load-balance control

<i>control</i>	ユニキャストトラフィックとマルチキャストトラフィックに共通のパラメータで、宛先/送信元のハッシュ方式を指定。オプションは、source、source-destination、xor、destination、symmetric です。
----------------	--



(注)

このコマンドは、仮想デバイス コンテキスト (VDC) を除き動作可能な F2 にはなりません。VDC では、同じ効果を実現するために、port-channel load-balance configuration コマンドを使用するようにリダイレクトされます

(http://www.cisco.com/en/US/docs/switches/datacenter/sw/5_x/nx-os/fabricpath/command/reference/fp_cmds.html)。

デフォルト

対称

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。
6.0 (1)	このコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、拡張レイヤ 2 ライセンスが必要です。

例

次に、P2P インターフェイスの最初の LSP 再送信の間隔を設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath load-balance source
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath load-balance	FabricPath のロード バランシングに関する情報を表示します。

fabricpath load-balance unicast

ユニキャストトラフィックについて、ロードバランシングハッシュパラメータ、ローテーション量、VLANの使用を設定するには、`fabricpath load-balance unicast` コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの `no` 形式を使用します。

**fabricpath load-balance unicast preference rotate-amount rotation-amount
vlan-inclusion**

**no fabricpath load-balance unicast preference rotate-amount rotation-amount
vlan-inclusion**

<i>preference</i>	ロードバランシングのハッシュ計算に含めるパラメータ（L3 パラメータ、L4 パラメータ、もしくは両方のパラメータ）を指定するオプション。オプションは、 <code>layer3</code> 、 <code>layer4</code> 、 <code>mixed</code> です。
<i>rotation-amount</i>	キーをローテーションしてハッシュを生成する単位。指定できる範囲は 0 ~ 14 です。
<i>vlan-inclusion</i>	ロードバランシングのハッシュ計算に VLAN 情報を含めるオプション。 <code>include-vlan</code> パラメータを明示的に指定することで、VLAN の使用をイネーブルにしたり、ディセーブルにすることができます。

デフォルト

`mixed` プリファレンスと `vlan` の使用はディセーブルです。ローテーション量のデフォルト値は、各スイッチまたは `vdc` で異なります。

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

`network-admin`
`vdc-admin`

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。
6.0 (1)	このコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、拡張レイヤ 2 ライセンスが必要です。

例

次に、`layer3` プリファレンスと 4 バイトのローテーション量を使用し、VLAN の使用をイネーブルにしてユニキャストフローのロードバランシングを設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath load-balance unicast layer3 rotate-amount 0x4 include-vlan
switch(config)#
```


関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath load-balance	FabricPath のロード バランシングに関する情報を表示します。

fabricpath load-balance multicast

マルチキャストトラフィックについて、ロードバランシングハッシュパラメータ、ローテーション量、VLANの使用を設定するには、`fabricpath load-balance multicast` コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの `no` 形式を使用します。

fabricpath load-balance multicast rotate-amount rotation-amount vlan-inclusion

no fabricpath load-balance multicast rotate-amount rotation-amount vlan-inclusion

<i>rotation-amount</i>	キーをローテーションしてハッシュを生成する単位。指定できる範囲は 0 ~ 14 です。
<i>vlan-inclusion</i>	ロードバランシングのハッシュ計算に VLAN 情報を含めるオプション。 <code>include-vlan</code> パラメータを明示的に指定することで、VLAN の使用をイネーブルにしたり、ディセーブルにすることができます。

デフォルト

VLAN の使用はディセーブルです。ローテーション量のデフォルト値は、各スイッチまたは `vdc` で異なります。

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。
6.0 (1)	このコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、拡張レイヤ 2 ライセンスが必要です。

例

次に、6 バイトのローテーション量を使用し、VLAN の使用をディセーブルにしてユニキャストフローのロードバランシングを設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath load-balance multicast rotate-amount 0x6
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath load-balance	FabricPath のロードバランシングに関する情報を表示します。

fabricpath multicast aggregate-routes

ブロードキャスト マルチキャスト ルートに対してプログラム固有のルートを設定するには、**fabricpath multicast aggregate-routes** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

fabricpath multicast aggregate-routes [exclude *flag-id*]

no fabricpath multicast aggregate-routes [exclude *flag-id*]

構文の説明

exclude	(任意) これらの FTAG の集約ルートを指定します。
<i>flag-id</i>	(任意) ツリーのフラグ ID。指定できる範囲は 1 ~ 1024 です。

デフォルト

オフ

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにより、MAC アドレス テーブルでより多くのルートをプログラムすることができます。このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、ブロードキャスト マルチキャスト ルートでプログラム固有のルートを設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath multicast aggregate-routes exclude 11
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

fabricpath switch-id (グローバル コンフィギュレーション モード)

FabricPath スイッチ ID を設定するには、**fabricpath switch-id** コマンドを使用します。

fabricpath switch-id *switch-id*

構文の説明

switch-id FabricPath スイッチ ID。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

Virtual Port Channel Plus (vPC+) を実行中でなければ、FabricPath をイネーブルにしたときにシステムがスイッチ ID を割り当てるため、手動で割り当てる必要はありません。



(注)

vPC+ の詳細については、[fabricpath switch-id \(vpc-domain コンフィギュレーション モード\)](#) コマンドを参照してください。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath-enabled デバイスでスイッチ ID を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath switch-id 40
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath switch-id	スイッチ ID に関する情報を表示します。

fabricpath switch-id (vpc-domain コンフィギュレーション モード)

Virtual Port Channel Plus (vPC+) スイッチ ID を設定するには、**fabricpath switch-id** コマンドを使用します。

fabricpath switch-id *switch-id*

構文の説明	<i>switch-id</i>	FabricPath スイッチ ID。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
-------	------------------	--

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	vpc-domain コンフィギュレーション モード
----------	----------------------------

サポートされるユーザ ロール	network-admin vdc-admin
----------------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	vPC+ を実行中でなければ、FabricPath をイネーブルにしたときにシステムがスイッチ ID を割り当てるため、手動で割り当てる必要はありません。
------------	---



(注) 2 台の vPC+ ピア デバイスが隣接関係を形成できるようにするには、これらの各デバイスに同じ vPC+ スイッチ ID を割り当てる必要があります。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例	次に、FabricPath-enabled デバイスで vPC+ スイッチ ID を設定する例を示します。
---	---

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface port-channel 1
switch(config-if)# vpc domain 1
switch(config-vpc-domain)# fabricpath switch-id 1
Note:
-----: Remove existing ES ID before configuring a new one :-----
ERROR: Operation failed: An ES ID already exists

switch(config-vpc-domain)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show vpc</code>	vPC に関する情報を表示します。

fabricpath timers

FabricPath タイマーを設定するには、**fabricpath timers** コマンドを使用します。

```
fabricpath timers {allocate-delay sec | linkup-delay sec | transition-delay sec}
```

構文の説明

allocate-delay	ネットワーク全体に伝播する新しいリソースのタイム ディレイを指定します。
<i>sec</i>	秒単位のタイマーの値。指定できる範囲は 1 ~ 1200 秒です。
linkup-delay	競合検出のためのリンク プリンクアップのタイム ディレイを指定します。
transition-delay	ネットワーク全体に伝播する、遷移後の値のタイム ディレイを指定します。

デフォルト

- allocate-delay : 10 秒
- linkup-delay : 10 秒
- transition-delay : 10 秒

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、ネットワーク全体に伝播する新しいスイッチ ID が使用可能かつ恒久的となるまでの遅延を設定する例を示します。

```
switch(config)# fabricpath timers allocate-delay 600
switch(config)#
```

次に、スイッチ ID での競合検出のためのリンク プリンクアップ ディレイを設定する例を示します。システムが競合を検出すると、システムは競合の解決に一定時間をかけ、FabricPath を運用状態にしません。

```
switch(config)# fabricpath timers linkup-delay 600
switch(config)#
```


次に、遷移後の値をネットワーク全体に伝播させるための遅延を設定する例を示します。この間、古いスイッチ ID と新しいスイッチ ID がネットワークに存在します。この遷移は、リンクがアップになり、ネットワークが同一の 2 つのスイッチ ID を保持するかどうかをシステムがチェックするまでのみ持続します。

```
switch(config)# fabricpath timers transition-delay 600  
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath timers	FabricPath タイマーに関する情報を表示します。

feature-set fabricpath

Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト) の FabricPath フィーチャ セットをイネーブルにするには、**feature-set fabricpath** コマンドを使用します。VDC の FabricPath 機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature-set fabricpath

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

デバイスで FabricPath をイネーブルにするまで、FabricPath コマンドを表示したり、コマンドにアクセスできません。



(注)

スイッチで FabricPath をイネーブルにする前に FabricPath フィーチャ セットをインストールする必要があります。フィーチャ セットの詳細については、『*Configuring Feature Set for FabricPath*』マニュアルを参照してください。デフォルトの Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト)、および FabricPath を実行中の他の VDC で、別々に、FabricPath フィーチャ セットをイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、N7K-F132-15 モジュールが必要です。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、デバイスの FabricPath フィーチャ セットをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# feature-set fabricpath
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show feature-set	機能のステータスを表示します。

graceful-restart (fabricpath)

Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) プロセスのグレースフル リスタートをイネーブルにするには、**graceful-restart** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

graceful-restart [t3 manual secs]

no graceful-restart [t3 manual secs]

構文の説明

t3	(任意) T3 グレースフル リスタート タイマーを設定します。
manual	(任意) T3 デフォルト値を手動で設定することを指定します。
secs	T3 値。指定できる範囲は 30 ~ 65535 です。

デフォルト

60 秒

コマンド モード

Fabricpath IS-IS モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

IS-IS プロセスのグレースフル リスタートをイネーブルにするには、**graceful-restart** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、IS-IS プロセスのグレースフル リスタートをイネーブルにする例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# graceful-restart
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

hostname dynamic (fabricpath)

Intermediate-System-to-Intermediate System (IS-IS) のダイナミック ホスト名の交換を設定するには、**hostname dynamic** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

hostname dynamic

no hostname dynamic

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

オン

コマンド モード

Fabricpath IS-IS モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、IS-IS のダイナミック ホスト名の交換を設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# hostname dynamic
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hostname	システムのホスト名を表示します。

log-adjacency-changes (fabricpath)

隣接状態の変化のログ記録を設定するには、**log-adjacency-changes** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

log-adjacency-changes

no log-adjacency-changes

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

オン

コマンドモード

Fabricpath IS-IS モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、隣接状態の変化のログ記録を設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# log-adjacency-changes
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

lsp-gen-interval (fabricpath)

リンクステート パケット (LSP) 生成の間隔を設定するには、**lsp-gen-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

lsp-gen-interval {*lsp-max-wait* | *lsp-initial-wait* | *lsp-second-wait*}

no lsp-gen-interval {*lsp-max-wait* | *lsp-initial-wait* | *lsp-second-wait*}

構文の説明

<i>lsp-max-wait</i>	生成される LSP の連続した 2 つのオカレンス間の最大間隔 (秒)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。デフォルト値は 8000 です。
<i>lsp-initial-wait</i>	最初の LSP 生成遅延 (秒単位)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。デフォルト値は 50 です。
<i>lsp-second-wait</i>	最初と 2 番目の LSP 生成の間のホールドタイム (ミリ秒)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。デフォルト値は 50 です。

デフォルト

デフォルトの設定は次のとおりです。

- lsp-max-wait : 8000
- lsp-initial-wait : 50
- lsp-second-wait : 50

コマンド モード

Fabricpath IS-IS モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

LSP パケットの生成、送信、再送信の速度を制御するには、**lsp-gen-interval** コマンドを入力できません。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、LSP 生成間隔を設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# lsp-gen-interval 9000 60 70
switch(config-fabricpath-isis)#
```

■ Isp-gen-interval (fabricpath)

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show fabricpath isis</code>	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

lsp-mtu (fabricpath)

Cisco NX-OS ソフトウェアによって生成されるリンクステート パケット (LSP) Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット) を設定するには、**lsp-mtu** コマンドを設定します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

lsp-mtu bytes

no lsp-mtu bytes

構文の説明

bytes 最大 LSP サイズ (バイト単位)。指定できる範囲は 128 ~ 4352 です。

デフォルト

1492 バイト

コマンド モード

Fabricpath IS-IS モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、最大 LSP サイズを 1500 バイトに設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# lsp-mtu 1500
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath Layer 2 IS-IS を表示します。

mac address-table learning-mode conversational

F シリーズ モジュールの特定の Classical Ethernet (CE; クラシック イーサネット) VLAN を対話型 MAC アドレス ラーニングに設定するには、**mac address-table learning-mode conversational** コマンドを使用します。従来型 (または非対話型) MAC ラーニング モードに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

mac address-table learning-mode conversational {vlan *vland-id*}

no mac address-table learning-mode conversational {vlan *vland-id*}

構文の説明

vlan	VLAN を設定します。
<i>vlan-id</i>	VLAN ID です。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。

デフォルト

従来型 MAC アドレス ラーニングは、F シリーズ モジュールの CE VLAN のデフォルトです。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注)

FabricPath VLAN を従来型 MAC アドレス ラーニング モードに設定できません。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、F シリーズ モジュールで指定した CE VLAN に、会話型 MAC アドレス学習を設定する例を示します。

```
switch(config)# mac address-table learning-mode conversational vlan 1-10
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show mac address-table learning-mode	VLAN および MAC アドレス ラーニング モードを表示します。

max-lsp-lifetime (fabricpath)

最大リンク ステート パケット (LSP) のライフ タイムを設定するには、**max-lsp-lifetime** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

max-lsp-lifetime *value*

no max-lsp-lifetime *value*

構文の説明	<i>value</i>	最大 LSP ライフタイム (秒単位)。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。
デフォルト	1200 秒	
コマンド モード	Fabricpath IS-IS モード	
サポートされるユーザ ロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.1(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	LSP の最大ライフタイムは、LSP のリフレッシュ間隔よりも大きな値にする必要があります。このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。	
例	次に、リンクステート パケットが持続する最大時間を 11,000 秒に設定する例を示します。	
	<pre>switch# config t Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z. switch(config)# fabricpath domain default switch(config-fabricpath-isis)# max-lsp-lifetime 1300 switch(config-fabricpath-isis)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	show fabricpath isis	FabricPath Layer 2 IS-IS を表示します。

maximum-paths (fabricpath)

宛先ごとのパスの最大数を設定するには、**maximum-paths** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

maximum-paths *paths*

no maximum-paths *paths*

構文の説明	<i>paths</i>	宛先あたりの最大パス数。範囲は
-------	--------------	-----------------

デフォルト	デフォルト値は 16 です。
-------	----------------

コマンド モード	Fabricpath IS-IS モード
----------	----------------------

サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin
---------------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。
------------	---------------------------------------

例	次に、宛先ごとのパスの最大数を設定する例を示します。
---	----------------------------

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# maximum-paths 1
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show fabricpath isis	FabricPath Layer 2 IS-IS を表示します。

reference-bandwidth (fabricpath)

インターフェイスの設定に使用される参照帯域幅を変更するには、**reference bandwidth** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

reference-bandwidth *bandwidth* {Mbps | Gbps}

no reference-bandwidth *bandwidth* {Mbps | Gbps}

構文の説明

<i>bandwidth</i>	帯域幅を指定します (Mbps 単位または Gbps 単位)。指定できる幅は 1 ~ 400000 Mbps および 1 ~ 400 Gbps です。
Mbps	帯域幅を Mbps で指定します。
Gbps	帯域幅を Gbps で指定します。

デフォルト

デフォルトの設定は次のとおりです。

- Gbps : 400
- Mbps : 400000

コマンドモード

Fabricpath IS-IS モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、Gbps インターフェイス用の参照帯域幅を変更する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# reference-bandwidth 500 Gbps
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath Layer 2 IS-IS を表示します。

root-priority (fabricpath)

ルートになるノードのプライオリティを設定するには、**root-priority** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

root-priority *value*

no root-priority *value*

構文の説明

value トポロジごとのルート プライオリティ値。指定できる範囲は 1 ～ 255 です。デフォルトは 64 です。

デフォルト

デフォルト値は 64 です。

コマンド モード

Fabricpath IS-IS モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

優先順位値の最も高いノードが、ルートになる可能性が高くなります。このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、ルートになるノードのプライオリティを設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# root-priority 1
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

show fabricpath isis adjacency

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) 隣接データベースを表示するには、**show fabricpath isis adjacency** コマンドを使用します。

show fabricpath isis adjacency [**interface** {**ethernet** *slot/chassis number* | **port-channel** *channel-number*} | **detail** | **summary** | **system-id** *sid*]

構文の説明

interface	(任意) インターフェイスのステータスを表示します。
ethernet	イーサネットインターフェイスを表示します。
<i>slot/chassis number</i>	スロットまたはシャーシ番号。
port-channel	ポートチャンネルインターフェイスを表示します。
<i>channel-number</i>	ポートチャンネル番号。有効な範囲は 1 ~ 256 です。
detail	(任意) IS-IS 隣接の詳細情報を表示します。
summary	(任意) IS-IS 隣接の概要情報を表示します。
system-id	(任意) システム ID を表示します。
<i>sid</i>	システム ID。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、IS-IS 隣接の詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis adjacency detail
Fabricpath IS-IS domain: default Fabricpath IS-IS adjacency database on MT-62:
System ID      SNPA          Level State Hold Time Interface
switch#
```

関連コマンド

■ show fabricpath isis adjacency

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis database

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) リンクステート パケット (LSP) データベースの情報を表示するには、**show fabricpath isis database** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis database [level] [mgroup] [detail | summary] [sid] {[zero-sequence]
| [router-id] | [adjacency]}
```

構文の説明	
<i>level</i>	(任意) IS-IS レベル 1 ルーティング リンク ステート データベースを表示します。
<i>mgroup</i>	(任意) IS-IS GM データベース情報を表示します。
<i>detail</i>	(任意) IS-IS 詳細情報を表示します。
<i>summary</i>	(任意) IS-IS 概要情報を表示します。
<i>sid</i>	(任意) XXXX.XXXX.XXXX.XX-XX 形式の LSP ID。
<i>zero-sequence</i>	(任意) 番号がゼロ シーケンスの LSP を表示します。
<i>router-id</i>	(任意) ルータ ID フィルタを表示します。
<i>adjacency</i>	(任意) 隣接フィルタを表示します。

デフォルト なし

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
vdc-admin

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例 次に、FabricPath IS-IS LSP データベースの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis database
Fabricpath IS-IS domain: default LSP database
  LSPID                               Seq Number  Checksum  Lifetime  A/P/O/T
  AA.00-00                             * 0x00000199  0x9FEB    935       0/0/0/1
  AA-vdc2.00-00                         0x0000019A  0xF5D3    1078      0/0/0/1
  AA-vdc3.00-00                         0x00000197  0x6ECF    833       0/0/0/1
switch#
```

■ show fabricpath isis database

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis ftag

トポロジのツリーに関連付けられた Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) FTAG 値を表示するには、**show fabricpath isis ftag** コマンドを使用します。

show fabricpath isis ftag [**multidestination** *tree-id*]

構文の説明

multidestination	(任意) マルチデステイネーション情報を表示します。
<i>tree-id</i>	(任意) ツリー ID。指定できる範囲は 1 ~ 2 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、IS-IS FTAG マルチデステイネーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis ftag multidestination 1
Fabricpath IS-IS domain: default
Fabricpath IS-IS Ftag Database
  Legend: C - Confirmed, T - tentative
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis hostname

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) ホスト名テーブル情報を表示するには、**show fabricpath isis hostname** コマンドを使用します。

show fabricpath isis hostname [detail]

構文の説明	detail	(任意) IS-IS 詳細情報を表示します。
-------	---------------	------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション モード
---------	-----------------------

サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin
---------------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。
------------	---------------------------------------

例	次に、FabricPath IS-IS ホスト名テーブルの情報を表示する例を示します。
---	---

```
Switch# show fabricpath isis hostname detail
Fabricpath IS-IS domain: default dynamic hostname table
  Level  LSP ID                Dynamic hostname
  1      0024.986d.3141.00-00    dceSwitch2
  1      0024.986d.3cc1.00-00*   dceSwitch1s
  1      0026.9805.c3c1.00-00    dceSwitch3
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis interface

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) インターフェイスの情報を表示するには、**show fabricpath isis interface** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis interface {brief | ethernet slot/chassis number | port-channel
channel-number}
```

構文の説明	構文	説明
	brief	IS-IS インターフェイスに関する簡単な情報を表示します。
	ethernet	イーサネットインターフェイスを表示します。
	<i>slot/chassis number</i>	スロットまたはシャーシ番号。
	port-channel	ポートチャネルインターフェイスを表示します。
	<i>channel-number</i>	ポートチャネル番号。有効な範囲は 1 ~ 256 です。

デフォルト なし

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール network-admin
vdc-admin

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例 次に、FabricPath IS-IS インターフェイスに関する簡単な情報を表示する例を示します。

```
Switch1# show fabricpath isis interface brief
Fabricpath IS-IS domain: default
Interface      Type  Idx State           Circuit  MTU  Metric  Priority  Adjs/AdjsUp
-----
Ethernet2/2    P2P   1   Up/Ready        0x01/L1  1500 40     64       1/1
Ethernet2/3    P2P   2   Up/Ready        0x01/L1  1500 40     64       1/1
Ethernet2/16   P2P   3   Up/Ready        0x01/L1  1500 40     64       1/1
Ethernet2/32   P2P   4   Up/Ready        0x01/L1  1500 40     64       1/1
Ethernet12/32  P2P   5   Up/Ready        0x01/L1  1500 40     64       1/1
switch1#
```

■ show fabricpath isis interface

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis ip mroute

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) マルチキャストルートに関する情報を表示するには、**show fabricpath isis ip mroute** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis mroute [vlan vlan-id [group group-id [source source-id]]]
```

構文の説明

vlan	(任意) IS-IS VLAN の情報を表示します。
<i>vlan-id</i>	VLAN ID です。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
group	(任意) グループ情報を表示します。
<i>group-id</i>	グループ ID 情報。
source	(任意) ソース情報を表示します。
<i>source-id</i>	送信元 ID。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、IS-IS mroute の情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis ip mroute
Fabricpath IS-IS domain: default
Fabricpath IS-IS IPv4 Multicast Group database
VLAN 2: (*, *) (Flood)
  Outgoing interface list: (count: 2)
    SWID: 0x14 (20)
    SWID: 0x1e (30)
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis ip redistribute mroute

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) 再配布 mroute 情報を表示するには、**show fabricpath isis ip redistribute mroute** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis ip redistribute mroute [vlan vlan-id [group group-id [source
source-id]]]
```

構文の説明

vlan	(任意) IS-IS VLAN の情報を表示します。
<i>vlan-id</i>	VLAN ID を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
group	(任意) グループ情報を表示します。
<i>group-id</i>	グループ ID 情報。
source	(任意) ソース情報を表示します。
<i>source-id</i>	送信元 ID。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS 再配布 mroute 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis ip redistribute mroute
Fabricpath IS-IS domain: default
Fabricpath IS-IS IPv4 Local Multicast Group database
VLAN 2: (*, *)
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis protocol

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) プロトコルの情報を表示するには、**show fabricpath isis protocol** コマンドを使用します。

show fabricpath isis protocol

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS プロトコルの情報を表示する例を示します。

```
switch1# show fabricpath isis protocol
Fabricpath IS-IS domain : default
  System ID : 0024.986d.3cc1 IS-Type : L1
  SAP : 432 Queue Handle : 11
  Maximum LSP MTU: 1492
  Graceful Restart enabled. State: Inactive
  Last graceful restart status : successful
  Metric-style : advertise(wide), accept(wide)
  Start-Mode: Complete [Start-type crash]
  Area address(es) :
    00
  Process is up and running
  CIB ID: 3
  Interfaces supported by Fabricpath IS-IS :
    Ethernet2/2
    Ethernet2/3
    Ethernet2/16
    Ethernet2/32
    Ethernet12/32
  Level 1
  Authentication type and keychain not configured
  Authentication check specified
  MT-0 Ref-Bw: 400000
```

■ show fabricpath isis protocol

```
Address family Swid unicast :  
--More--
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
default	

show fabricpath isis route

ユニキャスト ルートの FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) ルーティング テーブルを表示するには、**show fabricpath isis route** コマンドを使用します。

show fabricpath isis route [summary | detail]

構文の説明

summary	(任意) IS-IS 隣接情報のサマリーを表示します。
detail	(任意) IS-IS 隣接の詳細情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、IS-IS ルートの詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis route detail
Fabricpath IS-IS domain: default
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
default	

show fabricpath isis rrm

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Retransmit-Routing-Message (RRM) に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis rrm** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis rrm [gm] {ethernet slot/chassis number port-channel number}
```

構文の説明

gm	(任意) IS-IS GM-Send-Sequence-Number 情報を表示します。
ethernet	イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>slot/chassis number</i>	スロットまたはシャーシ番号。
port-channel	ポートチャネル インターフェイスを表示します。
<i>number</i>	ポート チャネル番号。有効な範囲は 1 ~ 256 です。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS RRM 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis rrm gm ethernet 2/2
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis spf-log

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Shortest-Path-First (SPF) 計算統計情報に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis spf-log** コマンドを使用します。

show fabricpath isis spf-log [detail]

構文の説明	detail (任意) IS-IS SPF の詳細情報を表示します。
デフォルト	なし
コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション モード
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin
コマンド履歴	リリース 変更箇所 5.1(1) このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例 次に、FabricPath IS-IS SPF の詳細情報を表示する例を示します。

```
switch1# show fabricpath isis spf-log detail
Fabricpath IS-IS domain: default SPF information
Total number of SPF calculations: 0

Log entry (current/max): 20/20
Log entry: 01, Ago: 06:37:27, Date: Wed Nov 03 16:08:43 2010
  Level Instance  Init   SPF      IS Update  URIB Update  Total
  1      0x00000005  0.000219 0.000425 0.000049   0.000225    0.004572
  Level Node Count  Changed Reason
  1      9      2      0 Lost adj dceSwitch2 on Ethernet2/16

Log entry: 02, Ago: 06:37:16, Date: Wed Nov 03 16:08:54 2010
  Level Instance  Init   SPF      IS Update  URIB Update  Total
  1      0x00000006  0.000207 0.000284 0.000048   0.000157    0.002655
  Level Node Count  Changed Reason
  1      9      1      0 Updated LSP dceSwitch2.00-00

Log entry: 03, Ago: 06:35:59, Date: Wed Nov 03 16:10:11 2010
  Level Instance  Init   SPF      IS Update  URIB Update  Total
  1      0x00000007  0.000247 0.000352 0.000049   0.000159    0.003963
  Level Node Count  Changed Reason
  1      9      1      0 New adj dceSwitch2 on Ethernet2/2
```

■ show fabricpath isis spf-log

```
Log entry: 04, Ago: 06:35:56, Date: Wed Nov 03 16:10:14 2010
  Level Instance   Init      SPF      IS Update  URIB Update  Total
--More--
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis srm

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Send-Routing-Message (SRM) に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis srm** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis srm [gm] {ethernet slot/chassis number port-channel number}
```

構文の説明

gm	(任意) IS-IS GM-Send-Sequence-Number 情報を表示します。
ethernet	イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>slot/chassis number</i>	スロットまたはシャーシ番号。
port-channel	ポートチャネル インターフェイスを表示します。
<i>number</i>	ポート チャネル番号。有効な範囲は 1 ~ 256 です。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS SRM の情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis srm gm ethernet 2/2
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis ssn

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Send-Sequence-Number (SSN) に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis ssn** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis ssn [gm] {ethernet slot/chassis number | port-channel number}
```

構文の説明

gm	(任意) IS-IS GM-Send-Sequence-Number 情報を表示します。
ethernet	イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>slot/chassis number</i>	スロットまたはシャーシ番号。
port-channel	ポートチャネル インターフェイスを指定します。
<i>number</i>	ポート チャネル番号。有効な範囲は 1 ~ 256 です。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS Send-Sequence-Number 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis ssn gm port-channel 400
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis statistics

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) プロトコル統計情報に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis statistics** コマンドを使用します。

show fabricpath isis statistics

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS プロトコル統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis statistics
Fabricpath IS-IS domain:      default
SPF calculations:           16
LSPs sourced:                2
LSPs refreshed:             828
LSPs purged:                 0
Buffers U2RIB:               0
Buffers M2RIB:               0
Buffers PIXM:                0
Swid Updates:                6
Ftag Updates:                6
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
default	

show fabricpath isis switch-id

トポロジ内のスイッチ ID および到達可能性情報を表示するには、**show fabricpath isis switch-id** コマンドを使用します。

show fabricpath isis switch-id

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、スイッチ ID データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis switch-id

Fabricpath IS-IS domain: default
Fabricpath IS-IS Switch-ID Database
Legend: C - Confirmed, T - tentative, W - swap
        S - sticky, E - Emulated Switch
        '*' - this system
System-ID      Primary Secondary Reachable Bcast-Priority
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
default	

show fabricpath isis topology summary

Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) サマリー トポロジの情報を表示するには、**show fabricpath isis topology summary** コマンドを使用します。

show fabricpath isis topology summary

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS サマリー トポロジの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis topology summary
Fabricpath IS-IS domain: default FabricPath IS-IS Topology Summary
MT-0
  Configured interfaces:  Ethernet3/3  Ethernet3/5  Ethernet3/9
  Number of trees: 2
    Tree id: 1, ftag: 1, root system: 001b.54c2.2544, 2646
    Tree id: 2, ftag: 2, root system: 001b.54c2.2543, 1029
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
default	

show fabricpath isis traffic

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トラフィックの情報を表示するには、**show fabricpath isis traffic** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis traffic {ethernet slot/chassis number | port-channel number}
```

構文の説明

ethernet	イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>slot/chassis number</i>	スロットまたはシャーシ番号。
port-channel	ポートチャネル インターフェイスを表示します。
<i>number</i>	ポート チャネル番号。有効な範囲は 1 ~ 256 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS トラフィックの情報を表示する例を示します。

```
switch1# show fabricpath isis traffic
Fabricpath IS-IS domain: default
Fabricpath IS-IS Traffic:
PDU          Received      Sent  RcvAuthErr  OtherRcvErr  ReTransmit
P2P-IIH      14540          14550      0            1            n/a
CSNP         2168           1095      0            0            n/a
PSNP         4747           6357      0            0            n/a
LSP          8332           5380      0            0            0

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
default	

show fabricpath isis trees

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) ツリーの情報を表示するには、**show fabricpath isis trees** コマンドを使用します。

show fabricpath isis trees [multidestination tree-id]

構文の説明	multidestination	(任意) マルチデステイネーション情報を表示します。
	tree-id	ツリー ID。指定できる範囲は 1 ~ 2 です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のモード

サポートされるユーザロール network-admin
vdc-admin

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例 次に、FabricPath IS-IS ツリー マルチデステイネーションを表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis trees multidestination 1
Fabricpath IS-IS domain: default
Note: The metric mentioned for multidestination tree is from the root of that tree to that switch-id
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis vlan-range

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トポロジ内の VLAN を表示するには、**show fabricpath isis vlan-range** コマンドを使用します。

show fabricpath isis vlan-range

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS トポロジ内の VLAN を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis vlan-range
Fabricpath IS-IS domain: default
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath conflict

FabricPath ネットワーク内の競合に関する情報を表示するには、**show fabricpath conflict** コマンドを使用します。

```
show fabricpath conflict {all [detail] | link [detail] | switch-id [detail] | transitions [detail]}
```

構文の説明	all	すべての競合を表示します。
	<i>detail</i>	(任意) 詳細を表示します。
	link	すべてのリンクを表示します。
	switch-id	スイッチ ID を表示します。
	transitions	遷移を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のモード

サポートされるユーザ ロール network-admin
vdc-admin

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例 次に、FabricPath ネットワーク内の競合に関する詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath conflict all detail
No Ports under Fabricpath control
No Switch id Conflicts
No transitions in progress
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show running-config fabricpath	現在の FabricPath 設定を表示します。

■ show fabricpath conflict

show fabricpath ftag

FabricPath FTAG に関する情報を表示するには、**show fabricpath ftag** コマンドを使用します。

show fabricpath ftag

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath FTAG に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath ftag
                        FABRICPATH FTAG TABLE
=====
      ALLOCATING
FTAG  SYSTEM-ID  TREE-ID  TOPOLOGY-ID  FLAGS  STATE
-----+-----+-----+-----+-----+-----
1     0018.bad8.12ff    1         0        Primary  Confirmed
2     0018.bad8.12ff    2         0        Primary  Confirmed
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config fabricpath	現在の FabricPath 設定を表示します。

show fabricpath load-balance

FabricPath ロード バランシング情報を表示するには、**show fabricpath load-balance** コマンドを使用します。

show fabricpath load-balance

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のモード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注)

管理者権限のないユーザは **show fabricpath load-balance** を実行できません。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath ロードバランシング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath load-balance
ECMP load-balancing configuration:
L3/L4 Preference: Mixed
Hash Control: Symmetric
Rotate amount: 7 bytes
Use VLAN: TRUE
```

```
Ftag load-balancing configuration:
Hash Control: Symmetric
Rotate amount: 7 bytes
Use VLAN: TRUE
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>fabricpath load-balance</code>	FabricPath ロードバランシング パラメータを設定します。

show fabricpath route

FabricPath ルート情報を表示するには、**show fabricpath route** コマンドを使用します。

show fabricpath route [**detail hex** | **hex detail** | **switchid switchid value**]

構文の説明

detail	(任意) 詳細情報を表示します。
hex	(任意) スイッチ ID を 16 進数で表示します。
switchid	(任意) スイッチ ID を表示します。
<i>switchid value</i>	スイッチ ID 値。指定できる範囲は 0 ~ 16383 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath のルートに関する詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath route detail
FabricPath Unicast Route Table
'a/b/c' denotes ftag/switch-id/subswitch-id
'[x/y]' denotes [admin distance/metric]
ftag 0 is local ftag
subswitch-id 0 is default subswitch-id
FabricPath Unicast Route Table for Topology-Default
0/3009/0, number of next-hops: 0
    via ---- , [60/0], 1 day/s 22:56:03, local

switch#
```

次に、FabricPath ルートに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath route
FabricPath Unicast Route Table
'a/b/c' denotes ftag/switch-id/subswitch-id
'[x/y]' denotes [admin distance/metric]
ftag 0 is local ftag
subswitch-id 0 is default subswitch-id
```

```
FabricPath Unicast Route Table for Topology-Default
0/10/0, number of next-hops: 0
    via ---- , [60/0], 5 day/s 11:35:56, local
1/20/0, number of next-hops: 1
    via Po2, [115/40], 5 day/s 11:35:23, isis_l2mp-default
1/30/0, number of next-hops: 1
    via Eth7/2, [115/40], 5 day/s 11:35:28, isis_l2mp-default
1/35/0, number of next-hops: 0
    via ---- , [60/0], 5 day/s 11:35:26, local
2/35/0, number of next-hops: 0
    via ---- , [60/0], 5 day/s 11:35:26, local
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config fabricpath	現在の FabricPath 設定を表示します。

show fabricpath switch-id

FabricPath スイッチ ID を表示するには、**show fabricpath switch-id** コマンドを使用します。

show fabricpath switch-id [local]

構文の説明	local (任意) ローカル スイッチ ID を表示します。
-------	--

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	任意のモード
---------	--------

サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin
---------------	----------------------------

コマンド履歴	リリース 変更箇所
	5.1(1) このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。
------------	---------------------------------------

例	次に、FabricPath スイッチ ID を表示する例を示します。
---	------------------------------------

```
switch# show fabricpath switch-id
                        FABRICPATH SWITCH-ID TABLE
Legend: '*' - this system
=====
SWITCH-ID      SYSTEM-ID      FLAGS      STATE      STATIC  EMULATED
-----+-----+-----+-----+-----+-----
*10            0018.bad8.12fd Primary    Confirmed  Yes      No
20             0018.bad8.12fe Primary    Confirmed  Yes      No
30             0018.bad8.12ff Primary    Confirmed  Yes      No
35             0018.bad8.12fd Primary    Confirmed  No       Yes
35             0018.bad8.12fe Primary    Confirmed  No       Yes
switch#
```

次に、ローカル FabricPath スイッチ ID を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath switch-id local
Switch-Id: 40
System-Id: 0018.bad8.12fd
switch#
```

関連コマンド	コマンド 説明
	fabricpath switch-id FabricPath スイッチ ID を表示します。

show fabricpath system-id

システム ID ごとに FabricPath ネットワークの情報を表示するには、**show fabricpath system-id** コマンドを使用します。

show fabricpath system-id {*mac-address*}

構文の説明

mac-address MAC アドレス。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、システム ID ごとに FabricPath ネットワークの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath system-id 0000.0000.0001
Switch-Id: 10
State: Confirmede
Switch-Id: 1000
State: Confirmed
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config fabricpath	現在の FabricPath 設定の情報を表示します。

show fabricpath timers

システム ID ごとに FabricPath ネットワークの allocate-delay タイマー、linkup-delay タイマー、および transition-delay タイマーの設定を表示するには、**show fabricpath timers** コマンドを使用します。

show fabricpath timers

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath タイマーの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath timers
Allocate Delay Timer      : 10
Transition Delay Timer    : 10
Link-up Delay Timer       : 10
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath timers	FabricPath タイマーを設定します。

show fabricpath topology

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トポロジの情報を表示するには、**show fabricpath topology** コマンドを使用します。

```
show fabricpath topology [detail | [graph graph-id] ftag active | multicast | unicast] |
interface [ethernet slot/chassis number | port-channel port-channel number | vlan
active]
```

構文の説明

detail	(任意) 詳細情報を表示します。
graph	(任意) 各トポロジのグラフが表示されます。
<i>graph-id</i>	(任意) グラフ ID は、各トポロジに対応するツリーを識別するための単純な値です。
ftag	(任意) グラフの転送タグを表示します。
active	(任意) アクティブ マルチキャスト FTAG を表示します。
multicast	(任意) マルチキャスト FTAG を表示します。
unicast	(任意) ユニキャスト FTAG を表示します。
interface	インターフェイス トポロジ情報を表示します。
ethernet	(任意) イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>slot/chassis number</i>	スロットまたはシャーシ番号。有効範囲は 1 ~ 253 です。
port-channel	(任意) ポートチャネル インターフェイス番号を表示します。
<i>port channel-number</i>	ポート チャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。
vlan	(任意) レイヤ 2 トポロジの VLAN を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.2(1)	コマンド出力が追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、レイヤ 2 トポロジの VLAN を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath topology 0 vlan
Topo-Description          TPG-ID      Configured VLAN List
```

```
-----
0                               0           1-4095
switch#
```

次に、インターフェイス トポロジ情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath topology 0 interface
Interface      Topo-Description      Topo-ID      Topo-IF-State
-----
Ethernet2/1    0                      0            Up
```

次に、アクティブ マルチキャスト FTAG を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath topology 1 ftag
Topo-Description      Topo-ID      Graph-ID      Ftag
-----
1                      1            0             0
1                      1            1             1
1                      1            2             4
switch#
```

次に、FabricPath トポロジのインターフェイス VLAN を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath topology interface ethernet 2/1 vlan
Interface      Configured VLAN List
-----
Ethernet2/1    1, 6, 10-4095
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show feature-set

フィーチャ セットの状態を表示するには、**show feature-set** コマンドを使用します。

show feature-set

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のモード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、デバイスのすべてのフィーチャ セットの状態を表示します。FabricPath フィーチャ セットをイネーブルにする方法の詳細については、『*Configuring Feature Set for FabricPath*』マニュアルを参照してください。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、フィーチャ セットの状態を表示する例を示します。

```
switch# show feature-set
Feature Set Name      ID      State
-----
fabricpath            2       enabled
fex                    3       disabled
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature-set fabricpath	VDC で FabricPath フィーチャ セットをイネーブルにします。

show l2 multicast trees ftag

フィーチャ セットのステータスを表示するには、**show l2 multicast trees ftag** コマンドを使用します。

```
show l2 multicast trees ftag {ftag-id}
```

構文の説明	<i>ftag-id</i>	FTAG ID。指定できる範囲は 1 ~ 1024 です。
-------	----------------	-------------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	任意のモード
----------	--------

サポートされるユーザ ロール	network-admin vdc-admin
----------------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。
------------	---------------------------------------

例	次に、フィーチャ セットの状態を表示する例を示します。 switch# show l2 multicast trees flag 30 switch#
---	--

関連コマンド	コマンド	説明
	feature-set fabricpath	VDC で FabricPath フィーチャ セットをイネーブルにします。

show mroute

Layer 2 (I2; レイヤ 2) マルチキャスト ルート データベースを表示するには、**show I2 mroute** コマンドを使用します。

```
show {I2 | fabricpath} mroute {[vdc_omf] | [vlan vlanid] {[[omf] | [flood] | [source
{srcaddr | v6srcaddr}]} [group {groupaddr | v6groupaddr}]} [resolved] [ftag ftag-id]
[hex]}
```

構文の説明

I2	レイヤ 2 情報を表示します。
fabricpath	FabricPath 情報を表示します。
vdc_omf	(任意) 仮想デバイス コンテキスト (VDC) の Optimized Multicast Flooding (OMF) のルートを表示します。
vlan	(任意) VLAN ID を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。
<i>vlan-id</i>	(任意) VLAN ID。
omf	(任意) VLAN OMF ルートを表示します。
flood	(任意) スイッチ ID を 16 進数で表示します。
source	(任意) 送信元 IP アドレスを表示します。
<i>srcaddr</i>	送信元アドレス
<i>v6srcaddr</i>	IPv6 送信元アドレスです。
group	(任意) グループ アドレスを表示します。
<i>groupaddr</i>	グループ アドレス。
<i>ip6groupaddr</i>	IPv6 グループ アドレス。
resolved	(任意) インターフェイスの基となるネクスト ホップの解決済みスイッチ ID を表示します。
ftag	(任意) FTAG 番号を表示します。
<i>ftag-id</i>	FTAG ID。指定できる範囲は 1 ~ 1024 です。
hex	(任意) スイッチ ID を 16 進数で表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注) l2 と FabricPath は互いに置き換えて使用できます。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、インターフェイスの基となるネクストホップの解決済みスイッチ ID を表示する例を示します。

```
switch(config)# show l2 mroute resolved
(ftag/2, vlan/2, *, *) , Flood, uptime: 07:21:24, isis
  Outgoing interface list: (count: 2)
    Interface port-channel2, uptime: 07:21:20, isis
    Interface port-channel2, uptime: 07:21:20, isis

(ftag/1, vlan/2, *, *) , Flood, uptime: 07:21:24, isis
  Outgoing interface list: (count: 2)
    Interface Ethernet7/2, uptime: 07:21:23, isis

(ftag/2, vlan/3, *, *) , Flood, uptime: 07:21:24, isis
  Outgoing interface list: (count: 2)
    Interface port-channel2, uptime: 07:21:20, isis
    Interface port-channel2, uptime: 07:21:20, isis

(ftag/1, vlan/3, *, *) , Flood, uptime: 07:21:24, isis
  Outgoing interface list: (count: 2)
    Interface Ethernet7/2, uptime: 07:21:23, isis

(ftag/2, vlan/4, *, *) , Flood, uptime: 07:21:24, isis
  Outgoing interface list: (count: 2)
    Interface port-channel2, uptime: 07:21:20, isis
    Interface port-channel2, uptime: 07:21:20, isis

--More--
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config fabricpath	現在の FabricPath 設定を表示します。

show multicast trees

Layer 2 (12; レイヤ 2) マルチキャスト ツリー データベースを表示するには、**show 12 multicast trees** コマンドを使用します。

```
show {12 | fabricpath} multicast trees [topo topo-id] [ftag ftag-id] [hex]
```

構文の説明

12	レイヤ 2 情報を表示します。
fabricpath	FabricPath 情報を表示します。
topo	(任意) トポロジ インスタンスを表示します。
topo-id	トポロジ ID。指定できる範囲は 0 ~ 64 です。
ftag	(任意) FTAG 番号を表示します。
ftag-id	FTAG ID。指定できる範囲は 1 ~ 1024 です。
hex	(任意) スイッチ ID を 16 進数で表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、レイヤ 2 マルチキャスト ツリーの FTAG 番号を表示する例を示します。

```
switch(config)# show 12 multicast trees ftag 1

(ftag/1, topo/0, Switch-id 20), uptime: 07:11:50, isis
  Outgoing interface list: (count: 1, '*' is the preferred interface)
* Interface Ethernet7/2, [admin distance/115] uptime: 07:11:50, isis

(ftag/1, topo/0, Switch-id 30), uptime: 07:11:50, isis
  Outgoing interface list: (count: 1, '*' is the preferred interface)
* Interface Ethernet7/2, [admin distance/115] uptime: 07:11:50, isis
Found total 2 route(s)
```

次に、レイヤ 2 マルチキャスト ツリー データベースを表示する例を示します。

```
switch(config)# show 12 multicast trees
```

■ show multicast trees

```
(ftag/2, topo/0, Switch-id 20), uptime: 07:24:16, isis
  Outgoing interface list: (count: 1, '*' is the preferred interface)
* Interface port-channel2, [admin distance/115] uptime: 07:24:13, isis

(ftag/2, topo/0, Switch-id 30), uptime: 07:24:16, isis
  Outgoing interface list: (count: 1, '*' is the preferred interface)
* Interface port-channel2, [admin distance/115] uptime: 07:24:13, isis

(ftag/2, topo/0, Switch-id 35), uptime: 07:24:13, isis
  Outgoing interface list: (count: 1, '*' is the preferred interface)
* Interface port-channel2, [admin distance/115] uptime: 07:24:13, isis

(ftag/1, topo/0, Switch-id 20), uptime: 07:24:16, isis
  Outgoing interface list: (count: 1, '*' is the preferred interface)
* Interface Ethernet7/2, [admin distance/115] uptime: 07:24:16, isis

(ftag/1, topo/0, Switch-id 30), uptime: 07:24:16, isis
  Outgoing interface list: (count: 1, '*' is the preferred interface)
* Interface Ethernet7/2, [admin distance/115] uptime: 07:24:16, isis

(ftag/6, topo/2, Switch-id 20), uptime: 07:24:16, isis
  Outgoing interface list: (count: 1, '*' is the preferred interface)
* Interface port-channel2, [admin distance/115] uptime: 07:24:12, isis
--More--
```

関連コマンド

コマンド	説明
show l2 route	FabricPath ルート情報を表示します。

show mac address-table learning-mode

特定の VLAN の MAC アドレス ラーニング モードを表示するには、**show mac address-table learning-mode** コマンドを使用します。

show mac address-table learning-mode [vlan vlan-id]

構文の説明

vlan	(任意) VLAN を表示します。
vlan-id	VLAN ID です。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注) MAC 学習モードは、F シリーズ モジュールだけで使用できます。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、特定の VLAN の MAC アドレス ラーニング モードを表示する例を示します。

```
switch# show mac address-table learning-mode vlan 1
Vlan      Learning Mode
----      -
1         Non-Conversational-Learning
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mac address-table learning-mode conversation	F シリーズ モジュールの指定した CE での VLAN の対話型 MAC アドレス ラーニングを表示します。

show running-config fabricpath

FabricPath 情報を表示するには、**show running-config fabricpath** コマンドを使用します。

show running-config fabricpath

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath 情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config fabricpath

!Command: show running-config fabricpath
!Time: Wed Nov 10 23:10:14 2010

version 5.1(1)
install feature-set fabricpath
feature-set fabricpath

vlan 1-1000
  mode fabricpath

interface Ethernet2/1
  fabricpath isis authentication key-chain trees

interface Ethernet2/2
  switchport mode fabricpath

interface Ethernet2/3
  switchport mode fabricpath

interface Ethernet2/10
  switchport mode fabricpath
```

```
interface Ethernet2/16
--More--
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
default	

spanning-tree domain

1つのスパンニング ツリー ドメイン ID を、1つの FabricPath ネットワークに接続された FabricPath レイヤ 2 ゲートウェイ スイッチが属する異なる Spanning Tree Protocol (STP; スパンニング ツリー プロトコル) ドメインに割り当てるには、**spanning-tree domain** コマンドを使用します。

spanning-tree domain *domain-id*

構文の説明

domain-id ドメイン ID。指定できる範囲は 1 ~ 1023 です。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、スパンニング ツリー ドメインを設定する例を示します。

```
switch(config)# spanning-tree domain 5
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show spanning-tree summary	STP に関する情報を表示します。

spf-interval

SPF 生成の間隔を設定するには、**spf-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

spf-interval {spf-max-wait | spf-initial-wait | spf-second-wait}

no spf-interval {spf-max-wait | spf-initial-wait | spf-second-wait}

構文の説明

<i>spf-max-wait</i>	2 つの連続するリンクステート パケット (LSP) 生成間の最大間隔 (秒単位)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。
<i>spf-initial-wait</i>	最初の LSP 生成遅延 (秒単位)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。
<i>spf-second-wait</i>	最初と 2 番目の LSP 生成の間のホールドタイム (ミリ秒)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。

デフォルト

デフォルトの設定は次のとおりです。

- spf-max-wait : 8000
- spf-initial-wait : 50
- spf-second-wait : 50

コマンド モード

Fabricpath IS-IS モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、SPF 生成の間隔を設定する例を示します。

```
switch# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# spf-interval 9000 60 70
switch(config-fabricpath-isis)#
```

■ spf-interval

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

switchport mode fabricpath

インターフェイスを FabricPath ポートとして設定するには、**switchport mode fabricpath** コマンドを使用します。

switchport mode fabricpath

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

Classical Ethernet (CE; クラシック イーサネット) スイッチポート アクセス インターフェイス

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。



(注)

no キーワードはインターフェイスをデフォルトの CE スイッチ ポート アクセス インターフェイスに戻します。FabricPath ポートは FabricPath VLAN として設定された VLAN のトラフィックだけを伝送します。

例

次に、特定のインターフェイスを FabricPath ポートとして設定する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# interface ethernet 2/11-15
switch(config-if)# switchport mode fabricpath
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show interface	インターフェイスのステータスと内容を表示します。

■ switchport mode fabricpath

system default switchport fabricpath

デフォルト ポート モードを FabricPath として設定するには、**system default switchport fabricpath** コマンドを使用します。

system default switchport fabricpath

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、F シリーズ モジュールのインターフェイスにのみ効力があります。このコマンドによって、M シリーズ モジュールのインターフェイスに影響を与えることはありません。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、デフォルト ポートを FabricPath として設定する例を示します。

```
switch(config-if)# system default switchport fabricpath  
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show interface	インターフェイスのステータスと内容を表示します。

■ system default switchport fabricpath